

岩手県循環器病対策推進計画（中間案）に係る意見及び対応（協議会委員）

協議会委員名	意見等		意見区分	対応	最終案への反映内容	新旧対 照表頁
佐々木 亮平 委員 〔日本健康運動指導士会岩手県 支部 支部長〕	第 5 章 分野別施策 1 循環器病の予防や正しい知 識の普及啓発 （2）循環器病の 2 次予防 ア 脳卒中の予防 2 6 頁 □	高度肥満の児童生徒をハイリスク者と捉えるということだが、現状の 1 ～ 3 % の出現率の表記だけでは多いという実感が県民には伝わらないので はないか。また全国平均よりも高いという程度の表現では本県の深刻さが 十分に伝わらないのではないか。 2020 年の本県の「肥満傾向児」の出現率は、学年によるが 3 ～ 16 % 程度 の児童生徒が該当しており、全体に対する割合も高く、ハイリスクアプ ローチを徹底するならば、この時点からの認識と早くからの関わりが必要 である。早期発見早期治療という 2 次予防の本質の部分である。かつこの 肥満傾向児の出現率はこれまでも各年代男女とも全国ワースト 3 位以内に 該当する学年が多く、ワースト 1 位の学年もあることから、ワースト 3 位 以内の学年は明記した方がより深刻度、対応の緊急性や重要性が県民や各 家庭、関係機関にも伝わると考える。	追記	御意見を踏まえて修正します。 ・「高度肥満傾向児出現率」を「肥満傾向出現率」に修正 ・全国順位（3 位内）を加筆	新旧対照表のとおり	25 頁
	第 2 章 本県の現状 2 県民の健康 （2）生活習慣の状況 6 頁	図表 2-4 運動習慣の状況 運動習慣者（注） ⇒注釈の定義がどこに記載されているか確認できない。	修正	御意見のとおり修正（注釈を加筆） 併せて、統計の対象年齢が異なっている 21 年度を表から除き ます。	－	7 頁
	（3）生活習慣病等の状況 8 頁	図表 2-6 メタボリックシンドロームの状況の性別全国値が公表されてい ないということであったが、国民健康栄養調査において、身体状況調査の結 果として公表されており、現行の平成 29 年（2017 年）にあわせるならば、 「第 49 表メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況－メタボ リックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い、年齢階級別、人数、割合 －総数・男性・女性、20 歳以上〔妊婦除外〕」の表により公開されてい る。ただし、年齢階級が 10 歳となっているため、併記は難しいと思われ、 最新の全国値と県の値を表示するのか、再確認の上で検討願いたい。	修正	メタボリックシンドロームの全国値が公表されていることか ら、県と全国値を併記するとともに出典を修正します。	新旧対照表のとおり	9 頁
		メタボリックシンドロームの注釈 4 が本文中で、いわて健康データウェ アハウスの注釈 5 が図表 2-6 の資料出典に付いているため、本文中で統一す るならば、いわて健康データウェアハウスが先に記述されているため、注 釈 4 となり、メタボリックシンドロームが注釈 5 となる。	修正	上記に伴い注釈番号を修正	新旧対照表のとおり	9 頁

岩手県循環器病対策推進計画（中間案）に係る意見及び対応（協議会委員）

協議会委員名	意見等		意見区分	対応	最終案への反映内容		新旧対 照表頁
澤口 眞規子 委員 〔岩手県栄養士会 会長〕	【資料2】 岩手県循環器対策推進計画（中 間案）の概要 現状・課題	（中間案） 〔死亡率〕循環器病は、がんに次ぐ死亡原因であり、死亡率は全国でも ワースト上位 これでは表現が甘く、本県の課題が明確ではない。次の心疾患に比べ て、余りにも簡略化しています。本計画の中心課題なのですから、もっと 具体的な現状分析を求めたい。併せてP13も修正願います。 （修正案） 年齢調整死亡率（H22）では、本県の脳血管疾患の死亡率は全国ワースト1 位、心疾患死亡率は全国ワースト5位と劣悪な状態です。脳血管疾患に注視 すると、男性はS55、60、H2を除いて常にワースト5位以内。女性はS35、40 ワースト2位、S45、50はワースト1位。H17は3位。H22、27はワースト1位と トップを独走しており、高血圧予防のための減塩対策、食生活・運動習慣 の改善は緊急課題です。	修正	御意見を踏まえ、概要及び本文を加筆修正します。	（概要） 循環器病はがんに次ぐ死亡原因であり、死亡率は全 国上位であり、関係機関が連携した総合的な対策が必要 （本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり追記） 〔脳血管疾患〕 ○5年ごとに公表されている都道府県別比較が可能な 脳血管疾患の年齢調整死亡率の本県の順位は、平成22 （2010）年及び平成27年（2015）年で、男性は1位及 び3位、女性はいずれも1位となっており、全国上位 となっています。 〔心血管疾患〕 ○5年ごとに公表されている都道府県別比較が可能な 心疾患の年齢調整死亡率の本県の順位は、平成22 （2010）年及び平成27年（2015）年で、男性は4位及 び2位、女性はいずれも10位となっており、全国上位 となっています。（厚生労働省：人口動態統計特殊報 告）	13頁 15頁	
	【資料2】 岩手県循環器対策推進計画（中 間案）の概要 分野別施策 1 循環器病の予防や正しい知 識の普及啓発の推進	（中間案） (1)循環器病の1次予防 ○の3つ目に加筆 （修正案） ○病院、高齢者施設等の特定給食施設における塩分摂取制限と適正な食生 活習慣指導の実施	修正	御意見を踏まえ、本文を加筆修正します。 概要への記載については、施策項目間のバランスや掲載情報 量の制約等から記載を見送ります。	（本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり追記） （ア脳卒中の予防 及び イ心血管疾患の予防） また、特定給食施設等での適切な栄養管理や利用者 への栄養教育を充実させることにより、健康的な食生 活に向けた取組を支援します。	23頁 24頁	
		（中間案） ○受動喫煙防止対策の徹底と禁煙希望者の禁煙に向けた支援 希望者だけを禁煙指導するのではなく、循環器病対策をすすめる環境整 備を県の総力で進めるべきではないか。 併せてP23も見直し願います。 （修正案） ○全ての公共施設、事業所、旅館・飲食業における「煙を吸わせない環境 づくり」の徹底と禁煙指導医療機関の拡大	修正	御意見を踏まえ、概要及び本文を加筆修正します。	（概要） 関係機関と連携した受動喫煙防止対策の徹底と禁煙 に向けた支援 （本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり加筆） （ア脳卒中の予防 及び イ心血管疾患の予防） 令和2（2020）年4月の改正健康増進法の全面施行を踏 まえ、市町村と連携した受動喫煙防止対策リーフレッ ト等による普及啓発や、各保健所による事業所や飲食 店、旅館・ホテル等の施設管理者等に対する説明会等 の受動喫煙防止対策の徹底による環境整備を図るとと もに、禁煙治療を行う医療機関の周知などにより禁煙 希望者の禁煙に向けた支援を継続します。	23頁 24頁	

岩手県循環器病対策推進計画（中間案）に係る意見及び対応（協議会委員）

協議会委員名	意見等		意見区分	対応	最終案への反映内容	
						新旧対 照表頁
		<p>（中間案） ○の5つ目に加筆 小児の1次予防について言及されていない。即、医療に結び付けるのではなく、幼少期からの指導を定着したい。 併せて、P22も見直し願います。</p> <p>（修正案） ○家庭・保育所・学校・児童センター等の連携による幼児期からの基本的な生活習慣教育の指導</p>	修正	御意見を踏まえ、本文を加筆修正します。 概要への記載については、施策項目間のバランスや掲載情報量の制約等から記載を見送ります。	<p>（本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり加筆）</p> <p>（ア脳卒中の予防 及び イ心血管疾患の予防）</p> <p><u>保育所や学校等においては、家庭・地域関係機関と連携し、運動習慣・望ましい食習慣・基本的な生活習慣の形成を一体的に捉え、子どもの頃からの健康づくりや生活習慣病予防の取組を推進します。</u></p>	23頁 24頁
	【資料2】 岩手県循環器対策推進計画（中間案）の概要 分野別施策 2 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実	<p>（中間案） (4)循環器病患者向けのリハビリテーションの充実 体制論に、具体的内容を加えていただきたい ○の3つめに加筆</p> <p>（修正案） ○リハビリテーションの効果を上げるためには、適正な栄養量、塩分管理等の栄養ケア・マネジメントを促進する。</p>	修正	御意見を踏まえ、本文に追記します。 概要への記載については、施策項目間のバランスや掲載情報量の制約等から記載を見送ります。	<p>（本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり追記）</p> <p>（脳卒中の医療（回復期） 及び 心血管疾患の医療（回復期）） ○リハビリテーション効果を高めるため、<u>食事形態や摂取方法に配慮した適正な栄養量確保のための栄養ケア・マネジメントを促進します。</u></p>	45頁 46頁
樋澤 正光 委員 〔全国健康保険協会岩手支部支部長〕	第5章1（2）循環器病の2次予防 ア及びイの【取り組むべき施策】	<p>健診日当日の特定保健指導実施率向上のため、県内の健診機関に対しての働きかけを行います。</p> <p>※協会けんぽでは、加入者及び事業主の5つの評価指標における取組に応じて、健康保険料率に反映するインセンティブ制度を設けている。現在、指標の一つである「医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率」の向上について、予防・健康づくりの取組により一層努めるべく、見直しを検討している。本県の脳血管疾患の死亡数が全国3番目に多いことから、循環器病を含めた生活習慣病の予防を推進していきたいと考えている。</p>	追記	御意見を踏まえ「取り組むべき施策」に追記します。	<p>（本文） 新旧対照表のとおり（次のとおり追記）</p> <p>（ア脳卒中の予防 及び イ心血管疾患の予防）</p> <p><u>県は、岩手県医師会等関係機関、市町村、医療保険者及び県内の健診機関等との連携体制を構築し、各医療保険者の特定保健指導実施率向上のための取組を推進します。</u></p>	25頁 26頁